

失敗を恐れず成功するまで諦めない高い志

第73回卒業式

3月1日（月）第73回卒業証書授与式を実施しました。

新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るため、1、2年生からは生徒会役員のみが在校生代表として出席しました。また、本来なら卒業生の門出を祝福していただいている来賓の皆様については出席をご遠慮いただき、本校育友会から会長・副会長4名のご来賓に限定しました。保護者の皆様にも各ご家庭から1名の出席としていただくようお願いしての実施となりました。

在校生送辞、卒業生答辞では、それぞれ代表生徒が学校生活を振り返り、心に響く言葉で感謝の気持ちと喜びを語ってくれました。式の様子は、翌日3月2日の神戸新聞でも紹介していただきました。

【学校長式辞から】

これから皆さんが活躍される令和の時代は、社会や経済が国境を超えて大きく動くグローバル化の時代です。グローバルな実践力を身に付けて、国際社会と地域社会に貢献できる幅広い人材が求められています。これからの時代で活躍する皆さんに必要な資質・能力として三つの要素が指摘されています。

一つ目は、「自ら主体的に未知のものに挑戦する意欲」です。二つ目は、「異人種・異文化の人たちとも助け合い、互いに補い合うことのできる広い視野と度量の深さ」です。三つ目は、「新たな価値を創り出すために、失敗を恐れず成功するまで諦めずにがんばり続ける高い志」です。これら三つの要素は、三木高校の校訓「自主」「協同」「創造」の中に生きています。

三木高校では、オーストラリアのワナルー高校・フランスのクロミエ高校との交流事業や国際総合科のアメリカ海外研修を実施するなど、北播磨で世界に一番近い学校として国際交流、異文化体験をとおした多様な学びの機会を設定しています。残念ながら令和二年はオーストラリア・ワナルー高校の生徒たちに来てもらうことも、三木高校の生徒がフランス・クロミエ高校を訪問することもできませんでしたが、卒業生の皆さんは、1年生2年生の時に国際交流行事に積極的に参加し、三木高生としての潜在能力の高さを見せてくれました。

自分を成長させるためには、何かに挑戦することが必要です。「不可能」の反対は「可能」ではありません。「不可能」の反対は「挑戦」です。ちょっと難しいと感じたら、「どうせ無理」と言い訳をして、簡単に自分の限界を決めてしまわずに、つねに挑戦する気持ちを持ち続けてください。皆さんが学校生活で見せてくれた明るい笑顔と素直な気持ちで物事に取り組めば、皆さんのまわりには、きっと応援し助けてくれる人が現れます。

卒業生の皆さんが、母校三木高校を愛する心を持ち続け、自分を信じて、失敗を恐れることなく、それぞれの目標に向かって着実に一步一步歩んで行かれることを願っています。

（校長 高橋信之）